

**一般質問**

議員 7人

# 町政を問う

6月定例会の一般質問は7日および8日に  
おこなわれました。  
紙面の都合により要約してお伝えします。  
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある  
会議録で確認できます。  
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、  
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

執行機関が提出した議案と関係なく、  
まちの行政全般にわたって、議員個人が執行  
機関に質問し、見解を求める場（もの）です。  
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、  
1人60分の持ち時間があります。

**■金谷 康弘議員（12ページ）**

1. 自主財源の確保について
2. ベッドタウン化の回避について
3. 農業遺産の保存・伝承について（継続質問）
4. 消防団員の免許取得の奨励・補助について  
(継続質問)
5. 花と緑のぐんまづくり2018IN吉岡について
6. 地域の課題

**■富岡 大志議員（13ページ）**

1. 今後の交通網整備の方針と、町道の長寿命化について
2. 「障害を理由とする差別の解消の推進」について
3. 「町民と行政が協働するまち」について
4. 公用車の活用について

**■大林 裕子議員（14ページ）**

1. 男女共同参画への取り組みについて
2. 防災について
3. 地域資源を生かして

**■柴崎 徳一郎議員（15ページ）**

1. 専用スポーツ施設の整備を
2. 群馬用水施設の現状と利活用課題は
3. 小学校における卒業式のあり方検討を
4. まちづくり事業の成果と評価は
5. まちの魅力発信拠点（東の玄関口）の方向性は

**■五十嵐 善一議員（16ページ）**

1. 防災・減災のまちづくりについて
2. 食の安心・安全について
3. 道徳教科化への対応について
4. 認知症対策について

**■山畠 祐男議員（17ページ）**

1. 防災について
2. 男女共同参画事業について
3. まちの観光について
4. 子どもを取り巻く環境について

**■小池 春雄議員（18ページ）**

1. スラグ問題
2. 子宮頸がんワクチン患者へのまち独自施策
3. 学校給食でのアレルギー対策対応
4. 子ども食堂などへの補助策

**インターネット配信中です**

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索







富岡大志議員

# シール材注入工法でコスト抑制を

答

舗装補修工法の1つとして検討



ひび割れが進む道路。シール材注入工法の修繕で長寿命化がはかれる。

ひび割れが進む道路。シール材注入工法の修繕で長寿命化がはかれる。

ひび割れが進む道路。シール材注入工法の修繕で長寿命化がはかれる。

ミニ解説

※シール材注入工法  
舗装のひび割れにシール材を充填して補修する工法。ひび割れから舗装内部への雨水などの浸透を防ぎ、舗装の構造としての性能低下を予防する。

問 町道の損傷、特にひび割れが目立つてきている。※シール材注入工法による長寿命化で、コスト抑制効果が期待できる。まちでも導入しては。

の1つとして検討していきたい。

DETの、まちでの活用を基礎的な研修を実施した上で検討

問 交通量の増えていて、その交通量に合わせた、集中的かつ構造的な補修が必要になるのでは。

答 産業建設課長 まちとして、その必要性を認識。今後、調査・検討を進めたい。

問 DET（障害平等研修）とは、障害者差別解消法が昨年4月に施行されたのを契機に、自治体や大学などをを中心に広がっている研修。「障がいとは何か」をテーマに、モルとなる具体例を示しながら、グループワークを通じて、主体的な気づきや発見のなかで理解を深めることを目的としている。これをまちの職員の研修や、小中学校の取り組みに活用してみては。

答 総務政策課長 個別具体的なケースについて学ぶ点で、大変意義深い研修と認識するが、まずは全職員の基本理解が必要。基礎的な研修を実施した上で検討していきたい。

答 町民生活課長 第5次総合計画により、町民主体の自治を目標に、コミュニケーションを深める、明るく住みよい地域づくり

答 町長 今後検討すべき分野であり、公用車に限らず、広くした活動の拠点が自治会で、活動を支援し、まちの諸事業を実施していくことが重要と考える。

ミニニティの活性化」に不可欠だと思うが、強化整備について、まちの考えは。

問 公用車を企業や団体の広告媒体として活用し、財政収入の確保や地域産業の振興をはかることができ

みては。

問 ひび割れが目立つてきている。※シール材注入工法による長寿命化で、コスト抑制効果が期待できる。まちでも導入しては。

答 産業建設課長 まちとして、その必要性を認識。今後、調査・検討を進めたい。

問 DET（障害平等研修）とは、障害者差別解消法が昨年4月に施行されたのを契機に、自治体や大学などをを中心に広がっている研修。「障がいとは何か」をテーマに、モルとなる具体例を示しながら、グループワークを通じて、主体的な気づきや発見のなかで理解を深めることを目的としている。これをまちの職員の研修や、小中学校の取り組みに活用してみては。

答 総務政策課長 個別具体的なケースについて学ぶ点で、大変意義深い研修と認識するが、まずは全職員の基本理解が必要。基礎的な研修を実施した上で検討していきたい。

答 町民生活課長 第5次総合計画により、町民主体の自治を目標に、コミュニケーションを深める、明るく住みよい地域づくり

答 町長 今後検討すべき分野であり、公用車に限らず、広くした活動の拠点が自治会で、活動を支援し、まちの諸事業を実施していくことが重要と考える。



大林裕子 議員

# 男女共同参画へ町長の考えは

**答**

あらゆる場面で反映させたい

**問** 男女共同参画推進  
に向けて町長の考  
えは。

**答** 町長 職場 地域  
家庭、あらゆる場

面で、役割を固定化す  
ることのないよう、男  
女共同参画の視点が反  
映されるよう働きかけ  
たい。

**問** 役場内で女性の能  
力を<sup>\*1</sup>エンパワー  
メントできる環境づく  
りを。

**答** 教育長 社会科の  
学習、人権教育で  
取り組んでいる。

**混合名簿使用の考えは**  
校長会などを通して検討

**問** 男女混合名簿の使  
用も性別固定感の

解消の手段。県内小學  
校の77・5%がすでに



今日はパパがお迎え（第三保育園）

使用しているが。

戦するよう、働きかけ  
たい。

**答** 教育委員会事務局  
長 今後校長会な  
どを通して検討したい。

**問** 町内の学校に女性

**答** 教育長 女性教員  
が管理職選考に挑  
戦するよう、働きかけ  
たい。

**問** 固定的男女役割分  
担の意識を改めて  
いくには、学校教育の  
力は大きい。教育長の  
考えは。

**答** 教育長 社会科の  
学習、人権教育で  
取り組んでいる。

**問** 日曜保育への二  
段と今後のまちの  
考えは。

**答** 町長 日曜保育の  
希望調査では1件  
だけ。必要な時は、対  
応可能な保育園に協力  
したい。

**問** 乾燥芋の生産体制  
の具体的な取り組  
みは。

**答** 町長 9月をめど  
に、ブランド化に  
向けた協議会の設立運  
営を行う。販路の拡大、  
法人化への経営を精査。

**問** 過去の災害の場所  
や状況を記した防  
災マップが必要では。  
討。

**答** 町民生活課長 新  
マップ作成時に検  
討。

**問** 自主防火組織へまち  
の協力を願いたい。

**答** 町長 あらゆる可  
能性を探りたい。

**答** 町民生活課長 自  
主防災組織のリー  
ダーと相談協力支援し

**ミニ解説**  
<sup>\*1</sup> エンパワーメント  
人々に夢や希望を与えて、勇気づけ、本来持っている  
力を湧き出させること。

<sup>\*2</sup> グリーンツーリズム  
農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を  
楽しむ滞在型の余暇活動。